

「相模原発・循環型福祉ビジネスプロジェクト」

— 環境と福祉と地域がつながるオガチャッカ（株式会社ネットフィールド）

取組の概要

廃口ウソクとおが屑を再利用した着火剤「オガチャッカ」。障害者就労支援と資源循環を目的とした地域発のアップサイクル製品の開発・製造で障がい者が社会に貢献できる仕組みと賃金向上の仕組みをつくった。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

以前から就労支援施設へ商品の製造などを依頼してきたが、障がい者の作業効率などの問題などもあり結果的に低い賃金になった。また普段障がい者が行う仕事は単純作業で内職と同様な賃金で作業していることから働き甲斐と収入面を改善したかったから。

解決に向けた具体策と成果

おが屑と廃口ウソクを再利用した「オガチャッカ」を開発し、障がい者が製造から販売まで担う仕組みを構築。働きがいと地域循環型の環境配慮型ビジネスを実現しました。

取組による定量的な効果

年間約200kgの廃口ウソクと約600リットルのおが屑を再資源化。売り上げの85%を施設へ還元。

取組のポイント

社会課題の解決は“善意”ではなく“仕組み”で。環境資源の循環と障がい者の働きがいを両立する持続可能なモデルへ